

嫁ぐ日
晴れの日
華やぐ日
和装・洋装の花嫁



開催場所

東京家政大学内・百周年記念館5階 展示室

下車駅：JR埼京線「十条駅」徒歩5分・都営三田線「新板橋駅」徒歩12分

休館日：日曜・祝日、10月26日(10月25日は学園祭のため開館)

開館時間：9:30～17:00 入館無料

会期中にイベントを開催

- ① シンポジウム「恋愛と結婚、その変遷を考える 一 家族・儀式・男女の意識から」 共催：東京家政大学女性未来研究所
② 水引の小物作り ③ ギャラリートーク【当館学芸員による展示品解説】 詳しくは当館ホームページをご覧ください。

嫁ぐ日・晴れの日・華やぐ日

2015年10月15日(木)
→11月19日(木)

和装・洋装の花嫁

普段から個人の好みで衣服が選ばれるようになった現在では、花嫁衣装もその例外ではなくなりました。

また、結婚に対する意識が“家”対“家”から、“個人”対“個人”へと様変わりし、結婚という形式にこだわらない人たちも増えています。

しかし、それでもなお、白無垢やウェディング・ドレスといった花嫁衣装は、女性のあこがれであり続けています。

娘を送り出す親は、そして花嫁自身は、その日のために用意された衣装にどんな思いを込め、新しい生活へと一歩を踏み出したのでしょうか。

婚礼に関わる衣装や儀式などを通して、結婚を見つめ直し、自分らしい人生の歩み方を考えるきっかけとなれば幸いです。



昭和時代初期の婚礼衣装



江戸時代後期の打掛



明治43年使用の打掛



大正時代の振袖



昭和時代初期の婚礼衣装



昭和14年の婚礼衣装



(左より)婚家までの道中着、お色直しの振袖2点



ウェディング・ドレス
(1880年代/イギリス)

企画展関連イベント [すべて参加費無料・事前申込み不要]

- シンポジウム** 共催：東京家政大学女性未来研究所
「恋愛と結婚、その変遷を考える 一 家族・儀式・男女の意識から」
 10/25(日) 14:00～16:00 (開場13:30) 定員200名
 会場：120周年記念館2階 120-2C講義室 直接会場にお集まりください
- 水引の小物作り**
 10/29(木)、11/7(土) 13:30～15:00
 各日15名(希望者多数の場合は抽選)
 13:30に企画展受付にお集まりください
- ギャラリートーク** [当館学芸員による展示品解説]
 10/19(月)、10/30(金)、11/11(水) 15:00から(40分程度)
 15時に企画展受付にお集まりください

